

# 口和自治振興区振興計画

(第3期)

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

(抜粋版)

口和地域の皆様へ

第3期口和自治振興区振興計画(抜粋版)の配布について

口和自治振興区では令和2年度から第3期口和自治振興区振興計画づくりに取り組みました。

今回の振興計画は、今後、益々進む人口減少と少子高齢化、そんな中でも、みんなで協力しあい「安心のまちづくり」「元気なまちづくり」を目指すことに主眼をおいて作成しましたので、ご一読いただけると幸いです。



令和4年6月

口和自治振興区 区長 清水孝清

振興計画策定プロジェクト委員会

委員長 徳山貴史

## 1 計画策定の趣旨

第3期口和自治振興区振興計画は、庄原市が推進する「みんなが好きと実感できるまちづくり」をふまえ、口和地区が将来にわたり、美しく豊かで文化的な生活環境のもと、住み慣れたふるさとで楽しく暮らしていけるまちづくりの道標となるべく、口和自治振興区振興計画第1期、第2期をふまえ、令和3年度から5箇年の計画を策定します。

## 2 諸情勢と口和地域のこれから

### (1) 人口減少と少子高齢化の進展

口和地区の人口は20年前の2000年（平成12年）には816世帯、2,644人、高齢化率37.8%でしたが2020年10月では669世帯、1,815人、高齢化率50.1%となり、世帯数は▲147世帯、人口は▲829人減少し、逆に高齢化率は12.3ポイント上昇しています。

庄原市の人口予測によると20年後（2041年）の口和地域の人口は1,075人余りまで減少し、高齢化率は53.8%となります。現在の約半分の人口、しかも半数以上が高齢者の状況で地域を維持していかなければなりません。あくまでも「予測」ではありますが、口和地域の人口は年々減少し高齢化が進むということは、まぎれもない事実です。

現在でも、人口減少や高齢化で少しずつ地域のコミュニティが失われつつあり、地域のコミュニティの核となる自治会も役員が固定化するなど、運営は厳しいものとなっています。自治振興区や自治会もこれまでどおりの活動をいつまでつづけられるかわからない状況となっており、10年後、20年後の地域の状況をよりの確にみすえた舵取りが必要となってきます。

### (2) 多発する大規模災害

日本では近年大規模災害が全国各地で発生し2010年7月の庄原豪雨災害

以降も 2011 年には東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われたほか、2014 年には豪雨により広島市北部で大規模な土砂災害が発生し死者 74 人、家屋の全半壊 255 軒に上る災害が発生しました。また、同年、御嶽山が噴火し多くの登山客が巻き込まれ犠牲となりました。2016 年には熊本地震、2017 年 7 月九州北部豪雨、さらに 2018 年 7 月に発生した西日本豪雨では広島県、岡山県、愛媛県などに甚大な被害をもたらし、死者は 200 人を超える大災害となりました。同年 9 月には北海道で地震、厚真町では震度 7 を記録しました。2019 年には 8 月九州北部豪雨、9 月には台風 15 号、19 号により関東地方を中心に被害が発生、2020 年 7 月豪雨、2021 年 8 月豪雨いずれも九州を中心に西日本をはじめ全国至るところで大規模被害が発生するなど、枚挙にいとまがありません。

基本、自分の身は自分で守るのが原則だと思われませんが、支援が必要な方がおられるのも事実です。全ての方の救助を行政だけで対応することは困難で、隣近所や自治会等共助の取り組みが必要となります。災害に限らず、日々の困りごとに助け合うことができる地域づくりが望まれています。

### (3) 新型コロナウイルス感染症による社会の変革

2019 年秋に中国に端を発した新型コロナウイルス感染症（以後コロナウイルスと表記する）は 2020 年になると世界中へ広がり、より感染力の高い変異ウイルスも出現し、2021 年になっても日本国内はもとより、世界中で猛威を振るっています。

コロナウイルスの影響は私たちの生活にも及び、感染拡大防止のため制限された生活を余儀なくされています。そのため、自治振興区や自治会活動も制限され、各種活動を自粛する動きが広まっています。イベント等も中止が相次ぎ、口和でも 2 年に 1 度地域をあげて開催する口和モーモー祭が延期、再延期されるという事態となっています。

地域の経済にも影響があり、鮎の里を運営する株式会社高瀬の湯が利用者の減少で赤字経営となり解散に追い込まれるなど、地元企業も苦境に立たされています。

コロナウイルスが発生し2年がたちますが、コロナウイルスが私たちの生活にもたらした影響は大きなものがあります。コロナウイルスに限らず地震や豪雨災害などで被災した地域は生活が一変してしまいます。そのような時こそ助けあえる地域づくりが必要となってきます。

#### (4) 口和自治振興区のこれから

口和自治振興区は人口減少と少子高齢化社会の到来、農作業や祭りなどの地域行事、そして、これから長い付き合いになるであろうコロナウイルスなど、社会情勢の変化により生活や各種活動が制限されても、地域のコミュニティーを失うことなく、私たちの未来に希望の持てるまちづくりを行っていきます。

### 3 地域の課題

計画策定プロジェクト会議で地域の課題について整理しました。

#### (1) 自治振興区、自治会活動

##### ① 振興区活動

- ・各部会のメンバーの入れ替えが激しいため継続した協議ができない。
- ・各部会の役割が明確になっていない。
- ・自治会役員の負担が大きくなっている。
- ・情報発信が弱い。

##### ② 自治会活動

- ・自治会の役を担う人が減り、運営が厳しくなっている。負担感も増えている。
- ・自治会の予算が足りない。
- ・自治会の配分金には差があるが、振興区へ出す役員の数は一緒である。

##### ③ その他

- ・行事が多い。

- ・若者不足でスポーツ行事への参加が難しい。

## (2) 人口減少・少子高齢化

### ① 人口減少

- ・町が寂れてくる。活気がなくなる。
- ・限界集落となり組合活動ができなくなる。
- ・空き家が増えてくる。

### ② 少子化

- ・近くに子どもの友達がいない。
- ・子どもがいないから学校がなくなる。

### ③ 高齢化

- ・高齢者の一人暮らし、二人暮らし世帯が増加している。
- ・通院、買い物等老後の生活が不安である。
- ・免許を返納すると生活が不便になる。

### ④ 定住促進

- ・人口減少の鈍化、空き家有効活用も含め、定住促進、Iターン・Uターンを促進する。

## (3) 地域活動

### ① コミュニティー活動の衰退、希薄化

- ・コミュニケーションの場が少なくなっている。
- ・生活様式の変化などでコミュニティー活動が衰退してきている。

### ② 生活が不便

- ・商店が無くなり買い物が不便になる。
- ・バスの便が悪く自家用車がないと生活できない。

### ③ 環境の悪化

- ・耕作放棄地が増えてきている。
- ・空き家が増加し廃屋も増えてきている。
- ・山林や里山が荒れてきている。

### ④ 地域の活性化

- ・町の未来を話し合う場がない。
- ・住みやすい町なのでしっかり PR する。
- ・子どもが地域で活動できる場が少ない。

## 4 基本理念・将来像

### 基本理念 「安心 元気な 口和の創造」

私たちが暮らす口和町、このまちで「安心」して住民みんなが案ずることなく暮らせるまち、そして、みんな「元気」で地域が活性化し、いきいきと人々が暮らせるまちづくりを行うことを基本理念とします。

### 将来像 「つどう ささえる はぐくむ 口和

#### 未来につながる 地域づくりと絆！！」

地域で楽しく生活するためには良好なコミュニティの形成が必要です。みんなで集い、お互い協力しながら支え合って生活し、子どもたちがたくましく成長し、将来にわたって住みたくなるまちづくりを目指します。

## 5. 将来像を実現するための基本方針

### (1) 安心のまちづくり

#### ① みんなで仲良く暮らせるまちにしよう

まちづくりの基本はコミュニティ活動です。知り合いや友人を増やし、大切にして共に助け合いのできる地域をつくりましょう。

#### ② 誰もがいつまでも住み慣れた地域で暮らせるまちにしよう

住み慣れたわが家でいつまでも暮らすことができる、そんなまちにしましょう。

#### ③ 楽しく学び続けよう

生涯学習事業を中心に幼児から高齢者まで、いつでも、どこでも、だれでも楽しく学ぶことができるまちにしましょう。

#### ④ 災害から身を守ろう

大規模災害が多発する今日、自分の身は自分で守ることを基本に、地域が連携し、防災活動に取り組みましょう。

**⑤地域課題や個人が抱える悩みを相談しやすい環境をつくろう**

自治振興区や自治会が地域や個人の悩みの窓口となり、各団体・組織と連携することで問題解決を進めていきましょう。

**(2) 元気なまちづくり**

**①体も心も元気でいよう**

適度な運動や農作業を通じて心身共に健康を維持し、年老いてもできるだけ自分のことは自分でできる体づくりを目指しましょう。

**②誰もが挑戦、活躍、応援しあえるまちを目指そう**

だれもが挑戦することに勇気を持ち、周りはお互いを尊重し、挑戦する人の支援ができる地域を目指しましょう。

**③地域を誇り未来を創る人になろう**

地域の良さを感じとり、自らが地域の未来を切り開くという気概を持ちましょう。

また、地域の人たちが持っている隠れた才能を発掘し、地域の将来に活かしましょう。

**④子どもたちの元気な声が響くまちにしよう**

子どもたちの元気な声が地域にとっての最大のエネルギーです。地域のみんなで子育てをしましょう。

**⑤地域活動へ参加しやすい仕組みづくりを考え進めよう**

地域活動は一部役員に預けるのではなく、全員参加をモットーに住民全員が、年に1つでも良いから地域のことに携わるようにしましょう。

**⑥変えていく勇気を持ちましょう**

人口減少や高齢化の進展など社会情勢も変化しており、従来どおりの事業を継続するのが難しい状況も生じてきます。

事業の振り返りを行い情勢の変化に合わせた運営をしましょう。

**⑦協力して地域の課題を解決しよう。**

人口減少に加え耕作放棄地の増加、空き家が増加し廃屋による環境破壊など私たちの美しいふるさとにも暗雲が立ち込めています。産業振興による農地保全や移住定住の推進による空き家活用など地域課題の解決に向け、協力してできることから取り組みましょう。

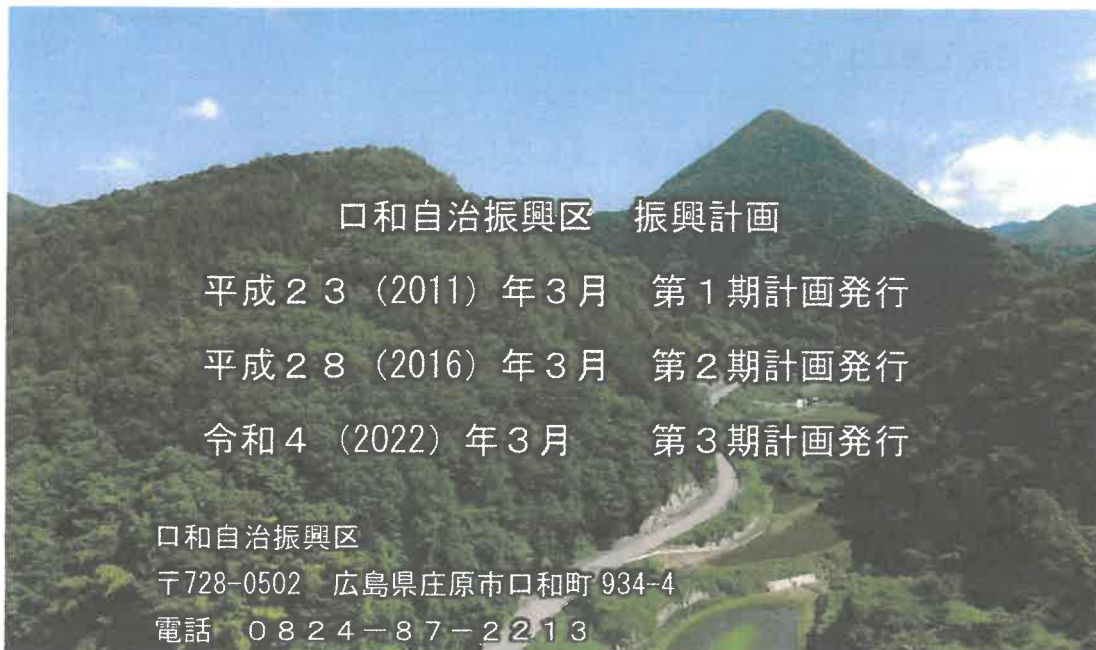


# “くちわ”のシンボル



これは旧口和町の町章で昭和 53 年 11 月に制定されたものです。

- 1 この町章は町名の「口和」を図案化したもので、大小二つの円の組み合わせにより、円弧で「口」を、円で「和」を表現する。
- 2 円弧で日月を示し、円満・人の和・明朗・日進月歩などの町の姿を示す。
- 3 中心上向きの弧は、山に抱かれ、しっかりした基盤の上に、将来伸び行く口和町の躍進と発展を象徴するものである。
- 4 また、町の特産である日本一の和牛の角でもある。



## 編集後記

振興計画策定プロジェクト実行委員会は、自治会から選出いただいた方と自治振興区がお願いした方、計 15 名で構成し計画づくりを進めました。

新型コロナウイルス感染拡大のため、会議や研修会が思うように開催できず、委員の皆様アイデアや口和への熱い思いを振興計画に反映することが難しい場面もありましたが、無事、完成することができました。

委員の皆様にご感謝申し上げますと共に、私たちの「口和町」がより住みやすい「安心、元気」な地域となるよう本振興計画をご活用ください。